



特集 その後どのように暮らしていますか？

手を入れながら愛着が深まる家



特集 その後どのように暮らしていますか？

手を入れながら愛着が深まる家

東京都国立市 | 木造一戸建て(木造ドミノ) | 佐々木邸(ご夫婦+お子様2人)



1

ストーリー

今回で紹介するのは、竣工から10年目を迎えた佐々木邸。当社メンテナンスリフォーム部の佐々木清さんと奥様、2人の子どもたちのお住まいです。竣工して間もない頃に『ainoha vol.2』でも掲載しました。前回掲載時と比べて、庭の緑が濃くなり、木の家と馴染んでいます。「『となりのトトロ』に出てくるような、茂っているけどいい雰囲気のある庭になるといいなと思って」と奥様。ジュンベリーやさくらんぼ、ゆずなど、実がなる木が中心です。それでも「鳥に先に食べられちゃって。アイツらしい頃合いを狙っているんですよ」と清さんは笑います。佐々木邸は梅林や湧水で知られる「谷保天満宮」に近く、周辺に緑が多い環境。この場所を選んだ大きな理由です。「社員寮に住んでいたので、いつか出なきゃと自然な流れで家づくりを進めていましたが、引渡しの際に当時の社長から“お引渡し状”をいただくなど、家づくりに対する皆さんの想いを感じて感動しましたね」と奥様は振り返ります。竣工当時はヨチヨチ歩きだった子どもたちが、今や中学生と小学生に。こちらの住まいでの10年間や住み心地を伺いました。



2

夢を繋げられる 広い玄関とLDK

玄関を上がると、庭に面した明るいLDKが広がります。玄関は土間が広く、LDKとの仕切りの引き戸を開け放つと一層の大きな空間に。大きな引き戸にしたのは“将来カフェ化計画”の一環。お客さんが大勢来ても、入口からカフェスペース（現LDK）に入りやすいようにするためです。「谷保天満宮の参拝客が多いのに、この辺はお店がなかったの、カフェにしたプランも描いたんですよ」と清さん。「当時は若かったんだな」と笑います。「建てるんだったら色んなことを想像して、色んな可能性があったら楽しいねって主人が。そんな風にして建てたおうちなので大事だし、住んでいて愛着もあるし。夢を実現できるように建てられて良かったなって思います」（奥様）。食事や団欒、宿題と、ほとんどの時間を大きな円卓周りで過ごすのが佐々木家のスタイルです。「僕は寝室にいるかソファにいるか。ソファにいると“そこに親父がずっといるから仕方ない”って子どもが良い距離感を保ってくれて。思春期ですけどコミュニケーションが取れています」（清さん）。



キッチンから、家族の様子や庭を見て料理できることが奥様の希望。

- | | |
|---|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 1. 楕円の円卓は「laboratory」でオーダー。2. 「シンク、コンロ、冷蔵庫が三角にまとまり使いやすいです」と奥様。3. 子どもの作品。4. 奥様が集めた雑貨や緑。 |
| 2 | |
| 3 | 5. エアコンはキッチン棚の中に。 |
| 4 | |
| 5 | |



3

住まいのみどころ

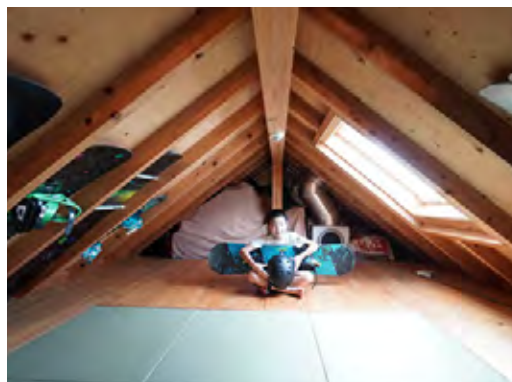
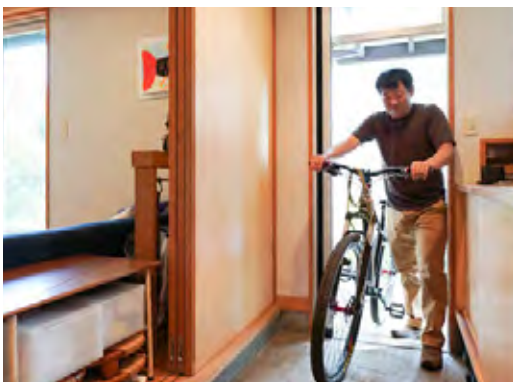
成長と共に生まれる それぞれの居場所

2階の一角が娘さんのスペース。壁を設けて個室にすることも可能です。アウトドアが趣味の佐々木家。特にスノーボードがお好きで、ワックス掛けに広い玄関土間が活躍。小屋裏では息子さんがゲームをするなど、LDK以外で時間も楽しんでいらっやいます。

1・2娘さんのスペース。3・4奥様のミシンコーナーで『ainoha vol.2』に掲載した写真を再現。5玄関は清さんの自転車を置ける広さ。6固定階段で行き来しやすとした畳敷の小屋裏。木造ミノ住宅の三角屋根を活かしてスノーボードが収納されています。



ainoha Vol.2 表紙より



手を入れながら 愛着が増す木の家

この10年間、フローリングにワックスを掛けたり、土佐和紙の壁上に家族みんなで湯布珪藻土を塗ったりと、手を加え続けています。「日々手を入れていくことで、おうちを自然と愛するようになりますね」と奥様。



1.大きな窓から庭が眺められる浴室。定期的なお手入れのおかげでもとても綺麗。2.柱には成長の記録が。3.円卓は定期的に回してムラなく経年変化。4.床は杉材。10年経っていい色艶に。



取材後記

竣工から10年、暮らしと木とが馴染んでいる様子が素敵でした。新築にはない風合いが家族の歴史を物語ります。清さんがオススメしてくださった「谷保天満宮」。湧水が流れる川が気持ちいいそうで、じっくり散歩してみたいです。休日の貴重なお時間をありがとうございました! (記:ライター大川)



設計・施工:相羽建設
撮影取材・編集:伊藤・大川・猪股
ainohaバックナンバー <http://aibaeco.co.jp/100story/life/>



特集 その後どのように暮らしていますか？

川のせせらぎが聞こえる家





隣の実家とつながる通路にはお父様の畑道具の収納庫が。

特集 その後どのように暮らしていますか？

川のせせらぎが聞こえる家

あきる野市 | 木造一戸建て(木造ミノ住宅・a-plan) | U邸(ご夫婦)



1

ストーリー

今回ご紹介するのは、完成してからもうすぐ1年が経つU様ご夫婦の住まい。この日はお隣に住むご両親と、奥様の妹さん親子も遊びにきてくださいました。すぐそばに流れる川のせせらぎの音と爽やかな風を感じながら過ごせる、まるで別荘のような立地。そんな素敵な場所で日々を過ごすU様に、家づくりのきっかけと現在の暮らしぶりを伺いました。

現在の住まいのお隣にある実家で幼少期を過ごした奥様は、「大きくなったらいつかここに家を建てるんだ!」と幼心に決めていたそうです。その気持ちは成長してからもずっと変わらず、結婚後について家づくりを本格的に考えはじめるようになりました。「雑誌を見たり展示場に行ったりしたけれど、なかなかしっくりくる家が見つからなくて……、そんな時インターネットの画像検索で見つけたのが相羽建設だったんです」と奥様。

※a-plan…住まいの基本形をパッケージしたシンプルな企画住宅

ainoha 2019*july-03

2 理想の家と 心地良い暮らし



- 1
- 2 3
- 4

1.目の前の庭と自然の景色を眺められるリビングダイニング。2.可愛い雑貨が並ぶ洗面スペース。3.収納たっぷり!飾り棚のあるキッチン。4.家の前に広がる山と緑と川のある景色。そこにいるだけで癒されます。



1階リビング

▲リビング・ダイニングにはインテリアストリート目黒通りの老舗ショップ「karf」の家具

さっそく当時完成したばかりのモデルハウス「つむじ」へ見学に行ったというご夫婦。「2人とも一目見て気に入りました!その後もたくさんのお見学会や住まい手さんのお家を見せてもらえる機会があって、外壁や収納など素敵だなと感じた部分は、私たちのお家のプランにも取り入

れさせて頂きました。スタッフさんや住まい手の皆さんには本当に感謝しています」と笑顔でお話してくださいました。小さい頃からの夢だった理想の住まいがカタチになり、日々を楽しく過ごすすゝ様。「自然素材の家で暮らすようになってから、いろいろ快適になりました。無垢の床だ

とあたたかくて素足でいられるし、足も痛くならないです。あと、以前の家は冬寒くて布団を5層[※]くらいかけていたのに、今の家はOMソーラーのおかげで毛布もいらないくらいです!」。毎日過ごす家だからこそ、日々の居心地の良さや快適性の大切さが伝わる体験エピソードですね。

3 住まいの見どころ

スペースを
使い分ける

2階はご夫婦それぞれの居室と、中間にはフリースペースがあります。フリースペースは洗濯物干しや収納場所としてなど、時と場合に応じて使い方を換えられる便利な空間。この日はハードロック好きのご主人にお宝コレクションを見せて頂きました。



1,2.ご主人のお気に入りのレコードコレクションがならぶ部屋。ロック雑誌にも掲載されたご主人のイラストも!4.木の家具が似合う奥様の部屋。5.便利なフリースペース。6.家をつくった大工さんやスタッフの名前を大黒柱に発見!

1	2
3	4
5	6



1.家の前には丁寧に手入れされた庭園が広がる。2.奥様のお父様と妹さん親子。お庭で楽しく遊びます。3.「取材のお土産に……」と頂いたさやえんどう。美味しく頂きました!

1	2
3	

▲ 豊かなお庭

隣に住むお父様がお手入れをされているという、家の前の立派なお庭と畑。可愛らしいお花や様々な種類のお野菜・果物が育てられています。家の敷地内にいながら、四季折々の植栽を眺めつつちょっとしたお散歩も楽しめる、贅沢スポットです。

取材後記

U様の住まいを担当させていただいた営業スタッフ栗林も、ご主人と同じくハードロック好き!話がつきることなく盛り上がっている様子を、一緒にいた私も嬉しい気持ちになりました。住んだ後もこのように私たちスタッフをあたたかく迎えてくださるU様ご夫婦に感謝です。楽しく素敵な時間をありがとうございました! (記: 広報 吉川)



設計・施工: 相羽建設 / 撮影取材・編集: 栗林・伊藤・吉川
ainoha/バックナンバー <http://aibaeco.co.jp/100story/life/>





特集 その後どのように暮らしていますか？

元気いっぱい！7人の子どもが暮らす家

特集 その後どのように暮らしていますか？

元気いっぱい！7人の子どもが暮らす家

小金井市 | 木造一戸建て(木造ミノ住宅) | H邸(ご夫婦+お子様7人)



1

ストーリー

今回で紹介するのは、ご夫婦と7人のお子様たちが暮らす住まい。家の完成当初は4人だったというお子様が、6年経ち今ではなんと7人に！泣いたり笑ったり日々を賑やかに過ごすご家族に現在の暮らしぶりを伺いました。

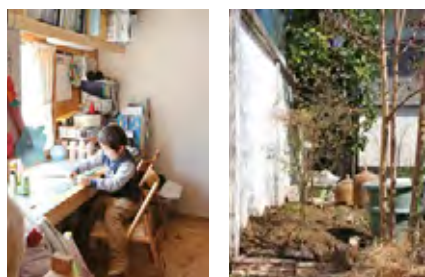
結婚当初は奥様の実家近くのアパートに住んでいたというH様ご夫婦。お子様が4人生まれていよいよ手狭になり、家探しをはじめたものの、6人家族の暮らしを想像できる家が見つからなかったといいます。「手狭な家に我慢して住むよりも子どもがのびのび遊べる家に住みたい」——そんな時、たまたま遊びに行ったママ友のお宅が相羽建設で建てた家でした。「素材感や壁で仕切らなくても良い広々とした空間に驚きました！自然素材なのに金額が抑えられていたおかげで、広い土地に予算をかけることができました」。



1階リビング

2

人が集まる 児童館のような家



1

1. お子様の人数分並んだお昼のうどん。2. ご主人とお子様共用のスタディカウンター。3. 小さな家庭菜園。庭に馴染む陶器タイプのコンポストで生ごみを堆肥にしている。

2 3

4

4. 未っ子にミルクをあげる奥様。



1階リビング

▲ 大人数が座れる大きなテーブル。

「1階は家族みんなが集まる場所になるよう最大限広いリビングに。2階は狭くても良いので子どもたちに一部屋ずつ。そして4人並んで勉強できるスタディコーナー」……と、家族の人数が多いからこそ心地よく暮らせるよう、家全体の基本的な間取は奥様が考えられたそうです。さらに

農学部出身だったこともあり「狭くても良いので畑をつくりたい」との希望から庭に小さな菜園をつくりました。「夏野菜はいつもここでつくっているんです。うちの子だけじゃなく、近所に住んでいる子どもたちも集まってきて一緒に収穫することもあるんですよ」と奥様。また、リビングが

広くテーブルも大きいので、PTAや部活動のママたちとのランチ会や作業部屋として使うことも多く「ゆったり過ごせる!」と好評とのこと。家づくり当初、「コンセプトは『児童館』にしよう」という話もあったそうで、その名の通り、みんなの笑顔があつまる場が実現されているようでした。

特集 その後どのように暮らしていますか？

こだわりの素材とシンプルな暮らし



特集 その後どのように暮らしていますか？

こだわりの素材とシンプルな暮らし

小金井市 | 木造一戸建て | S邸(ご夫婦+お子様2人)



1 ストーリー

以前は社宅で暮らしていたというS様ご家族。「子どもも成長してきたので、家の中で自由に遊んだり走り回ったりできる環境にしてあげたい」——そんな想いから、お子様が幼稚園に入園するタイミングで、戸建て住宅への引っ越しを考えられていました。

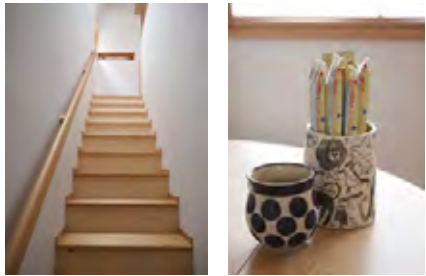
「建築士さんに設計してもらうのが憧れで、いろいろ調べていたら相羽建設にたどり着きました。家づくりははじめてで不安もありましたが、営業スタッフの豊福さんが土地と一緒に見に行ってくださったり、多方面からのアドバイスを頂けたのがありがたかったです」とS様。土地探しから3ヵ月、ついに条件に合う土地が見つかり、シンプルでありながらご夫婦お二人のこだわりが込められた素敵な住まいが完成しました。

住みはじめてちょうど1年が経つ、4人家族のS様の暮らしぶりをご紹介します。



2階キッチン

2 素材へのこだわり



- | | |
|---|---------------------------------------------------------|
| 1 | ヤジマのステンレスキッチン。2.ゆとりのある階段。3.粉ミルクの入れ物もおしゃれ。4.気持ちよく眠る次男くん。 |
| 2 | 3 |
| 4 | |



2階リビング

▲天井は杉材、床は桂材、壁はグレー寄りのホワイトカラーで塗装

明るい光が差し込む2階リビングは、家族が集まる家の中心部。アーコールのテーブルやアングルポイズの照明など、センスの良いインテリアが暮らしをシンプルに彩ります。そして、天井と床には、ご主人のご両親の出身地である山形県で採れた国産材を使用。「少し茶色

がかった床板にしたい」というこだわりのあったご主人は、なんと実際に山形県の材木屋さんまで行き、自身で材料を選ばれたそうです。木の色合いと家具の質感とのバランスが、程よく落ち着きのある空間を演出していました。また、S様の家は延べ床面積22坪という、このエリアでは

比較的コンパクトな住まいのため、回遊性のある間取りにしたり、逆に階段やトイレなどはあえて小さくまとめずに、ゆとりをもたせた設計工夫がされていました。上質感だけでなく、暮らしやすさも考えられた住まい。長男くんが広々楽しそうに家の中で遊んでいる姿に笑顔になりました。

3 暮らしの工夫



1階居室

▼ 使いやすさとデザイン

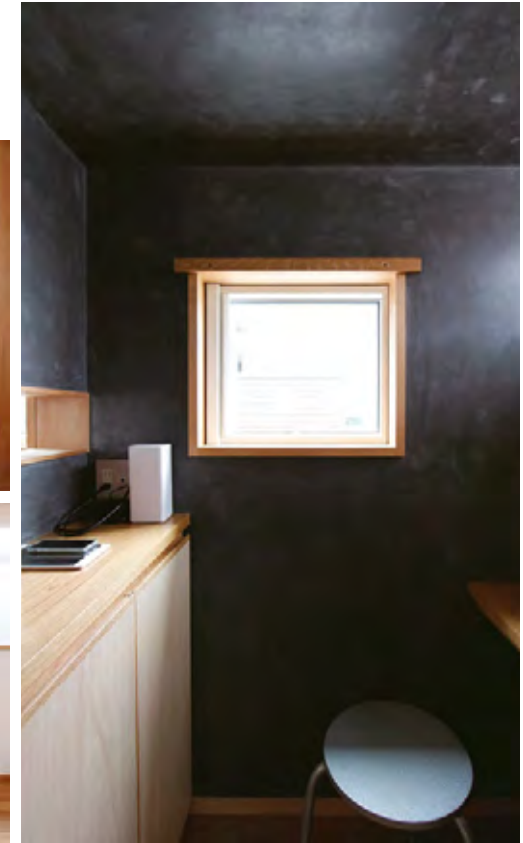
どの部屋もスッキリと整ったS様の住まい。その中でもちょっとした暮らしのアイデアがちりばめられていました。洗濯物は基本部屋干しという奥様のために、各部屋の天井に特注のアイアンハンガーパイプを取り付けたり、カーテンレールを使わずクリップや紐で布を吊るしてカーテンにするなど、見た目も素敵で実用的なインテリアの工夫。

- 1 ステンレスクリップを使ってカーテンに。
布は奥様の手作り。
- 2 赤川鉄工さんオリジナルの便利なアイアンハンガーパイプ。

統一感のある空間



- 1.大きめの黒タイルがある洗面室。
- 2.アングルボイスの壁付け照明が空間のワンポイントに。
- 3.将来的には間仕切りをして二部屋にもできる子ども部屋。
- 4.こもり感のある書斎。



全体の色合いに統一感がありながら、部屋ごとの素材や質感にちょっとした違いがあり、そこにまた心地良さを感じます。ご主人の書斎の壁面は、施工した左官屋さん初の試みだったという黒のモルタル仕上げ。独特な空気感に魅了されます。

取材後記

この日は1年点検も兼ねた取材でした。家づくりを担当させて頂いた営業の豊福、設計の中村、現場監督の樋口も揃い、みんなでS様のその後の暮らしぶりをお伺いできたことがとても嬉しかったです。日々丁寧に過ごされているS様。ゆくゆくは新たに庭の植栽計画も考えられているということで、素敵なお庭ができあがることを楽しみにしています！（記：広報 吉川）



設計・施工：相羽建設 / 撮影取材・編集：豊福・中村・樋口・伊藤・吉川
ainoha/バックナンバー <http://aibaeco.co.jp/100story/life/>



3 住まいの見どころ

みんながそれぞれ
過ごす場所

家が完成してからお子様が増えたため、気になるのが部屋の使い方ですが、部屋を仕切らず広めに使ったり、それぞれの年齢が少しずつ離れているため、上の子が独立したタイミングで下の子が代わりに部屋を使うなど、ほどよい工夫がされていました。

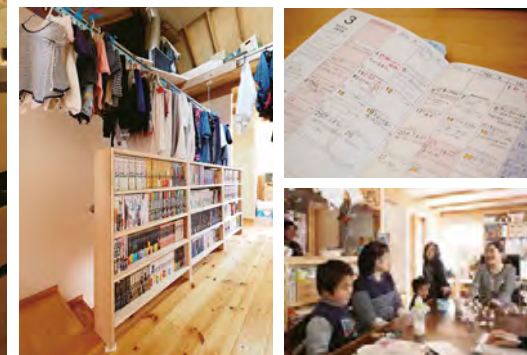


1.仕切らず使う2人部屋。木のドールハウスはご主人お手製!2.野球のピッチャーとして活躍しているお兄ちゃんの部屋。3.選手のサインも飾られている、サッカーが得意なお姉ちゃんの部屋。4.家の前には広々遊べる道路。

1	3
2	4



家の屋根にはOMソーラーの集熱パネル



1.みんなの成長記録が記された大黒柱。2.階段上は物干しスペース。本棚はご主人の手作り。3.みんなのリビング。4,5.スケジュール表には子どもの予定がたくさん!

1	3
2	4
	5

▲ 暮らしの工夫

人数が多い分、家事の量も多いH様の生活。洗濯機は1日3回まわし、家では常に洗濯物を干しています。その分干すのは奥様、畳むのはお子様たちという役割分担もしっかり!「[※]OMソーラーのおかげもあってか、洗濯物がすぐ乾いてありがたいです」と奥様。

※OMソーラー:太陽熱を暖房や給湯に利用するソーラーシステム

取材後記

こんなに賑やかに迎えられたのは初めて!というくらいお子様たちが元気いっぱい取材に協力してくれた一日でした。たくさん子どもやママ友が訪れる中、さらに今後は自宅をホームステイの受け入れ先にもしたいという奥様の懐の広さが素敵でした。家族構成や住まい方によって家もいろいろな幅広さがあるのだなあとしみじみ感じました。(記:広報 吉川)



設計・施工:相羽建設/撮影取材・編集:豊福・伊藤・吉川
ainoha/バックナンバー <http://aibaeco.co.jp/100story/life/>

